

2023.07.28 (金)

## 第24回川崎支部定例講演会開催後のご報告

川崎支部 支部長 山岸一雄

講演会日時：2023年07月28日(土) 14:00~15:20 (夢キャンパスにて)

演題：『「川崎を詳しく知ろう」公害の町から住みたい街へ 武蔵小杉駅周辺の開発』

講師：元 川崎市役所 まちづくり局 施設整備部 部長 木村弘一 (指導課・審査課、許認可)

(現 一般財団法人川崎市まちづくり公社 建設部 部長) (母校出身)。

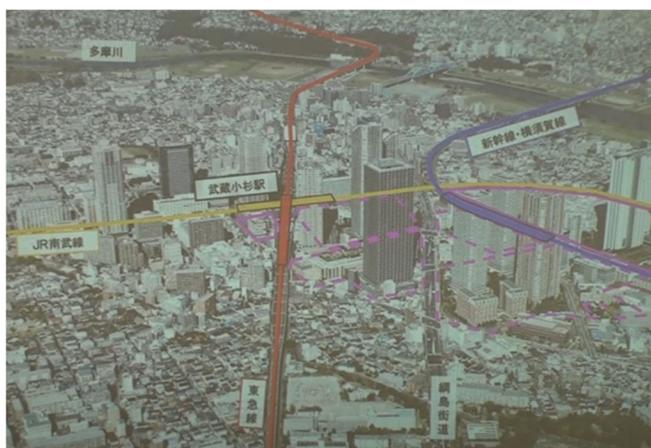
(対面+Zoom+ビデオ撮影) (URL：<https://youtu.be/gwqB-efqEyg>)

(講演要旨抜粋)

- ①川崎市(7区)の人口は**政令市に移行(1972年)**した翌年1973年には100万人、宮前区・麻生区が誕生した1982年は105万人、**150万人を超えたのは2019年**。
- ②川崎市は日本で6番目に大きい街(神戸市を超えた)。平成時代のイメージは、「**利便性が高い街**」「**住みたい街**」。
- ③武蔵小杉駅には南武線、東横線、横須賀線、新幹線が密集。



(現在の状況)



(2015年の状況)



(1988年の状況)

- ④20 政令市の人口増加率は No.1 (29.22%) (1990年～2018年)。2位はさいたま市。
- ⑤1927年に南武線が開通。当時の武蔵小杉駅は、現在の武蔵小杉から離れていて、東横線グランド駅前駅が現在の武蔵小杉駅の位置になる。
- ⑥1945年に武蔵小杉駅を開設。
- ⑦羽田空港の新設滑走路の為、既存の高層ビルが飛行経路の下部なので、ビルの高さを約半減させる大工事が発生 (国益優先)。下の写真の右が新設滑走路、左のビルの高さを半減した。黄色の矢印は飛行経路。



⑧川崎駅周辺の上空写真。



⑨鷺沼駅前再開発では 100m超のビル建設予定。  
(鷺沼駅上空の写真)



(再開発イメージパース)



⑩開発案件の見直しは 10 年毎。

⑪川崎市は「特別市」を目指している。

- ・「特別市」とは、川崎市が神奈川県の区域外となる制度で、川崎市が原則として県の仕事をすべて担い、権限と財源を市に一本化するもの。
- ・特別市になることで、二重行政を解消し市民サービスが向上するとともに、県を通さず国と直接やり取りすることで、素早い対応が可能になる。

\*参加者は16名（内、Zoom参加者3名、一般者1名、如学会1名）。

（講演会状況）



（写真で説明をする木村弘一部長）



（多くの方からの質疑）

以 上